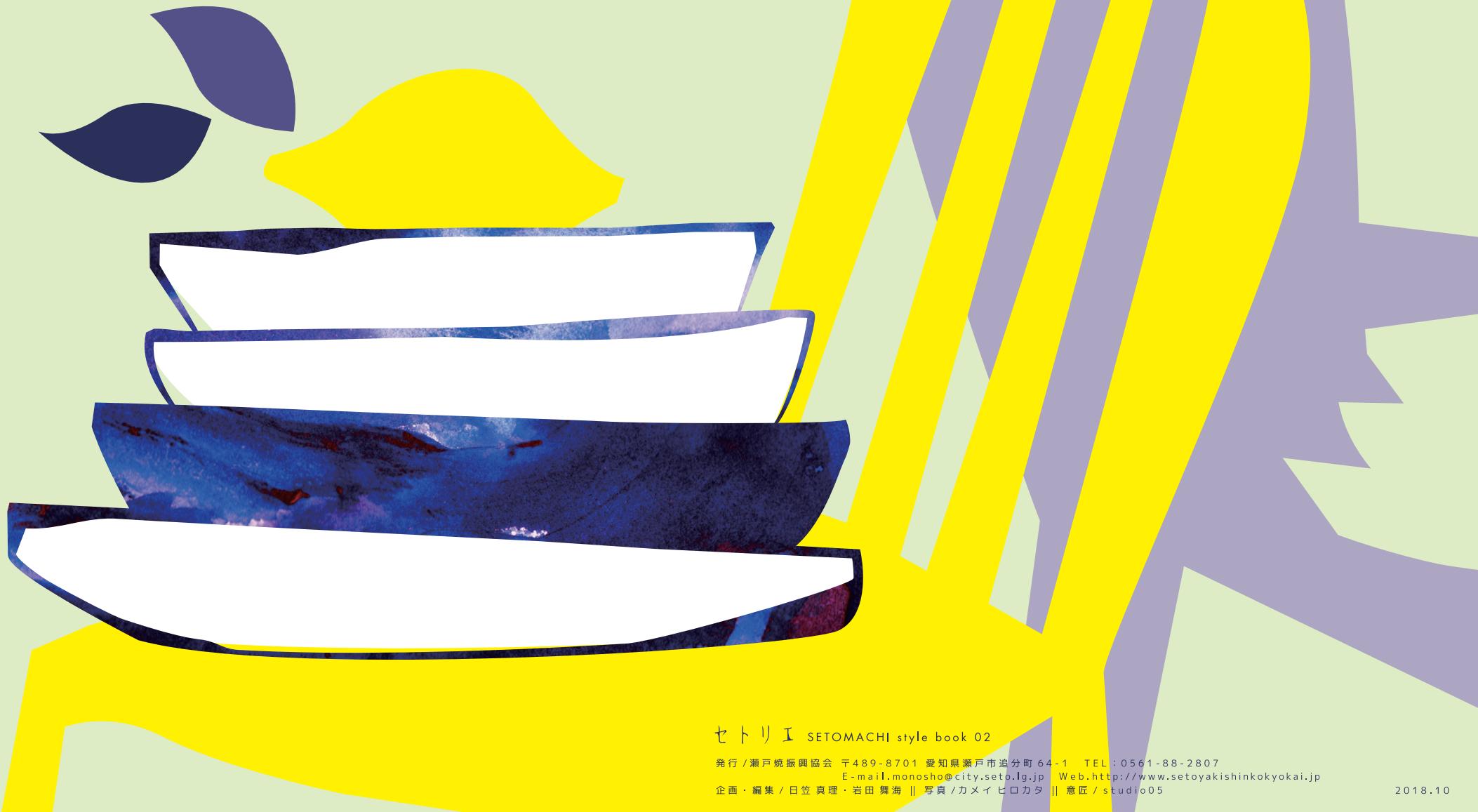


# セトリエ

瀬戸焼のあるくらしが好きになる。



セトリエ SETOMACHI style book 02

発行 / 瀬戸焼振興協会 〒489-8701 愛知県瀬戸市追分町 64-1 TEL : 0561-88-2807  
E-mail:monosho@city.seto.lg.jp Web:<http://www.setoyakishinkokyokai.jp>  
企画・編集 / 日笠 真理・岩田 舞海 || 写真 / カメイヒロカタ || 意匠 / studio05

2018.10

「せとでん」に乗って、せとまちへ。

名古屋の中心部「栄町駅」から、瀬戸市の玄関口「尾張瀬戸駅」まで、約20.6km。「せとでん」の愛称で親しまれている名鉄瀬戸線は、瀬戸で作られる陶磁器や陶土・珪砂の運送を目的に、瀬戸～矢田間で明治38年（1905）に開通しました。

明治44年に名古屋城外堀の堀川駅まで延長され、全路線が完成。瀬戸からお堀の中にある駅へと運ばれた陶磁器は、堀川で船に移され、名古屋港から海外へと盛んに輸出されたことで、“せともの”として名を広めていきました。

100周年を迎えた平成17年（2005）に愛・地球博が開催され、主力交通の一翼を担った「赤い電車」も平成26年に引退、現在はシルバーの「銀電」に。尾張瀬戸駅から徒歩5分の『瀬戸蔵ミュージアム』には、昭和の時代に活躍した車両モ754号の実車と当時の駅舎が復元展示され、ノスタルジックな風情とともにその歴史を物語っています。



撮影協力：陶製の赤い「せとでん」 岩右衛門窯 丸岩製陶所  
写真：(撮影)山田司 (1971年8月喜多山駅旧ホーム)  
協力：瀬戸蔵ミュージアム

黄瀬戸の妙技といえましょう。

枯淡の味わいの中に、命を感じさせます。  
地を抜けて裏側にも発色する性質があり、「抜けたんぱん」と呼ばれます。

見るところ、器の表と裏の両側に表れています。銅には、焼成の際に素古い呼び名に由来しています。よく難しい名称は、漢方薬としての銅の古い呼び名に由来しています。よく

織部、志野と並ぶ桃山陶のひとつ、  
黄瀬戸。ざらついた釉肌の「油揚げ手」  
には、陰刻文様や鉄絵の上にほんわりと緑色の「たんぱん（胆礪）」が浮かびます。硫酸銅をのせて焼成することで生まれる、この独特的の風合い。

**抜け胆礪**  
—黄瀬戸のふしげ—





「衰退するのを待つより、やりたいことをやって、新たに道を拓きたい」。



型屋として多くの製品づくりに携わってきた経験と視点を活かし、より使いやすい器をプロデュース。

株式会社エム・エム・ヨシハシ  
愛知県瀬戸市品野町4-22  
TEL: 0561-41-0471  
<http://mmyoshihashi.com>

1959年(昭和34年)「合資会社吉橋製型所」として創業。陶磁器用モデル(原型)及びモールド(型)、石膏製品の製造から、現在は陶磁器製品の企画、卸売、販売までを手がける。 OEM 受注のほか、「贈付」「AND C」等白社ブランドも展開。

**撮影協力**  
黒猫とほうき@Tane Cafe  
愛知県瀬戸市鳥原町208  
営業日：火曜日～土曜日  
11:00～17:00  
TEL：090-6399-6451



「安心でおいしい野菜と料理をとおして、瀬戸のものづくりに関わることができて嬉しいです」とオーナーの西田早苗さん。

生き残れない

近年は、瀬戸よりも美濃の窯屋からの受注が大半を占めるようになってきた。美濃でも型屋は一〇〇社ほどあるが、瀬戸の型の技術は依然として信頼が厚く、高く評価されてゐるという。

みはじめました。待つ仕事から、技術を発展させ、仕掛ける事業へ。たとえば、最初に立ち上げた自社ブランド「彫付」では、器の模様を絵付ではなく原型に直接彫り込んで焼き上げるという型職人ならではの技法を活かし、好評を得た。繰り返して、生活に溶け込み、何気なくいつも自然に使いたくなる日用雑器として手がけたのが、「AND C」。

吉橋さんは、器を使うライフスタイルごと提案していくみたいと、奥様と二人三脚で料理を盛り付け、撮影をしてSNSやWEBショップに積極的にアップ。そのアクティティブな発信が新たなファンをも増やしつつある。

「AND C」の大人色オーバルブレードと、瀬戸の野菜から生まれた焼菓子の「せ」といろ・コラボレーション。



# 型屋がつくる器のミライ

白い石膏型から  
カラフルな器々

食卓をパレットに、並べるだけで楽しくなる、元気が出でてくる！北欧雑貨やアメリカのダイナーで見かけそうな色とりどりのテーブルウェア。実はこれ、陶磁器メーカーではなく、製品の元となる原型や量産用の型をつくる「型屋」が手がけるオリジナル商品なのである。

# 窓辺にいちりん、にりん。

おさんぽで子供と一緒に摘んだ花、

庭の隅っこに自然生えしたハーブ、

愛らしい、季節の小さな実りたち。

ちいさきときめきを、一輪挿しに。

アレンジや生け花の心得がなくとも

一輪、一本、一枝をそのまま

みずみずしく弾む気持ちのまま

窓辺の光のそばに飾ってみます。



写真右から：  
田仲哲也／彌器（ほつき）  
漢人／のみ／一輪挿し  
加藤輝雄／トルコフル／一輪挿し  
陶房フタムラ／筒形タタキ白花瓶  
玉樹窯／黄瀬戸耳付／輪挿し  
撮影協力：山水ラボラトリ－「庭木」  
スタイル：Rosellian Farm

スタイリング：  
器の案内人「和の色」日笠真理  
写真右から：  
田仲哲也／彌器（ほつき）  
漢人／のみ／一輪挿し  
加藤輝雄／トルコフル／一輪挿し  
陶房フタムラ／筒形タタキ白花瓶  
玉樹窯／黄瀬戸耳付／輪挿し  
撮影協力：山水ラボラトリ－「庭木」  
スタイル：Rosellian Farm





互いの技法について熱く語り合う、  
宮地さん（左）と老泉さん（右）。

茶陶と和菓子に触  
親しんだ子供時代。

桃山期以降、茶道の発達とともに瀬戸ではいち早く多彩な釉薬を用いた芸術性の高い伝統的な茶陶がつくられてきた。その系譜を継ぐ赤津地区では、茶の湯を嗜む陶芸家や窯元も多く、毎年春（五月）・秋（十一月）に開催される【赤津窯の里めぐり】では、陶房でのお茶のおもてなしも盛ん。

「父も毎日午前十時と午後三時には、自服で楽しんでいました。私も若い頃は茶道のお稽古をしましたし、子供の頃から身边に茶盤(碗)に触ってきたので、その茶陶の概念は自然に身に入っていますね」。(宮地)

「お茶といえば和菓子。茶道をされているお客様や家族も身近に多く、とりわけ父の仕事には興味津々でした。丸めただけの生地がみるとうちに花や鳥になつていて練り切りの技に、魔法みたい!と感動していました」。(老泉)

父のこしらえる和菓子をお客様が「きれい!」「おいしかった」と喜ぶ笑顔を見て育った老泉さん。この素晴らしい仕事をぜひ継ぎたいと自然に思うようになつたという。

しかつた」と喜ぶ笑顔を見て育った老泉さん。この素晴らしい仕事をぜひ継ぎたいと自然に思うようになつたといふ。

らの仕事をとおして瀬戸の魅力を積極的に発信。宮地さんは窯の日常や展示会の様子、老泉さんは「かわいいキャラ」の練り切りや創作和菓子を紹介、その技術を動画で見せるなどして注目を集めている。

「せともん」は、もともと身近なくらしきを通じて広まつていつたもの。お茶でのおもてなしも含め、もつと気楽に、新たな「せともん」のイメージとして発信していくたいですね。(宮地)

「お茶の文化が根づいている土地なので、和菓子に親しんでもらうことで、瀬戸の文化の仲間入りをさせてもらえたから。そんな気持ちで精進します」。(老泉)



和菓子処 三好屋老泉

愛知県瀬戸市大坂町206-4 0561-82-8891 @01\_zumi #三好屋老泉 #アニマル和菓子

飽津窯

 愛知県瀬戸市赤津町22 ☎ 0561-82-6803 📩 @miyachi\_mondo #飽津窯宮地生成 #飽津窯

瀬戸市北東部に位置する赤津地区。千年を超えるやきものの歴史がある古窯のひとつで、現在も七十軒近くの窯元が点在する。『飽津(あくつ窯)』の「飽津」は、赤津のかつての地名に由来し、古窯の風情を残す赤い屋根の「赤津瓦」も健在だ。

工芸士の宮地生成さん。「地元でありながらやきものの知識はあまりなく、まずは直接足を運んでみよう!」と。宮地さんに赤津の歴史ややきもののお話を伺い、「器もお貸しいただきました」。そう語る老泉翔太さんは瀬戸生まれ。関西で修行を積み、家業の菓子舗を継ぐ若き三代目。全国和菓子協会の優秀和菓子職に認定される技術を持つ。

セレブな感じがする一  
IPPUKU IKAGA.

赤津焼・宮地 生成  
和菓子・老泉 翔太



和菓子「はさみ菊」  
黒織部 四方皿・織部 茶盃

せとまち  
コレクティブ

せとの活気、やる気、  
和気あいあいをシェア！

## 泊まれるせとまち♪ ゲストハウス

瀬戸を訪れる人々に、「また来たい！」「ものづくりを体験したい」「瀬戸の人とふれあいたい」と感じてもらえる街にしたい。そんな願いが集まって、個性あふれる2つのゲストハウスがオープンしました！

瀬戸がますます楽しくなるNEWスポット、ぜひ立ち寄ってみてください。



Cafe & Guesthouse もやいや  
愛知県瀬戸市朝日町 10  
0561-42-4660  
<http://moyaiya.com>

2018.7.8 OPEN!

### Cafe & Guesthouse もやいや

昔ながらのアーケードが続く銀座通り商店街の中にオープン。「飲食・宿泊・体験」をテーマに古民家をリノベーションし、瀬戸の「ひと・もの・こと」と出会える新たな拠点に。

2階ゲストハウスは、和室ドミトリー4部屋にキッチン、洗面・シャワールーム、トイレ、共有リビングを併設。1階のカフェでは、全メニュー瀬戸焼の器で楽しめるほか、瀬戸のツクリテ作品も展示販売。街の人との会話も楽しい、交流サロンです。

ここがいい！

- 2階ゲストハウスの窓から商店街ウォッチング
- 瀬戸焼の器で食べ、ツクリテコーナーでお買い物物
- はなれの工房で陶芸などものづくり体験も！

2018.7.28 PRE OPEN！

### ゲストハウスますきち

江戸末期～明治時代に活躍した瀬戸を代表する窯屋の初代・二代川本柳吉の本宅「旧川本柳吉邸」。その築140年の古民家が、ゲストハウスに。運営するのは、大学卒業後リターンで瀬戸市に戻った南慎太郎さん。瀬戸のひと・まちと一緒に考え、クラウドファンディングで改修費をシェアすることで、ひらかれたコミュニティスペースとしても注目を集めています。

「宿泊だけでなく、瀬戸の文化や魅力を発信、交流できるハブとしての場づくりをめざしています」。



(写真：公式サイトより)  
さまざまな分野のツクリテ達と汗を流して、古民家をリノベーション。

ゲストハウスますきち  
愛知県瀬戸市仲切町 22  
080-5129-3734  
<https://seto-masukichi.com>

ここがいい！

- 男女混合・女性専用ドミトリー、個室もあり
- 瀬戸のツクリテの器を使ってクッキング
- せとまちの魅力をシェアするイベントも開催

MADE IN NEW SETO

瀬戸の「創り場」から発信

## タイル技術で「テーブルウェア」

品野セラミックタイル工業株式会社



毎年東京ドームで開催される「テーブルウェア・フェスティバル」。テーブルウェアを中心とした展示販売会に、ここ数年瀬戸のタイルメーカー「品野セラミックタイル工業株式会社」も出品している。その内容は、主力商品の磁器質無釉床タイルではなく、釉薬を施したプレートやカトラリーレストなど。創業（一九六三）以来培ってきたタイルの製造技術を活かし、研究を重ね生まれた食器は、予想を上回る好評で、二〇一八年開催は一部商品が初日で完売となつた。

「タイルと食器は、まったく別

の作り方をしているわけでは

ありません。瀬戸の土を使い、

ろくろや圧力鋳込みで成形し、

窯で焼成するという基本の工

程はほぼ同じ。それを原料調達から焼成までを一貫体制で行い、機械化・量産化を可能とし、技術革新をえたのがセラミックタイルです。

当社では長年大手企業のOEM事業を主軸に実績を重ねてきましたが、瀬戸のメーカーとして、製法特許を活用し、新たな分野に挑戦したいと食器の開発に取り組みました。（佐藤基代表取締役社長）

タイルとは違い、ツカイテのニーズを直接聞く機会も多く、購買層の掘り起こしにもつ品をめざしています。

「かつて瀬戸で焼いたものが全国の一般家庭に普及したことから、『せともの』がやきものの総称になつたほど。タイル

から器へ、より身近なせとものづくりをとおして、瀬戸の再びの活性に貢献できれば幸いです」。



瀬戸市役所新庁舎の外壁タイルにも同社の製品が使われました。



つくる工程の基本は食器もタイルも同じ。

展示会では、「えっ、タイル

メーカーの器なの？」と驚かれることも多いという。実際にタイルの製法と同様に粉末原料に五十トンほどの圧力をかけ、高温で焼き締めるので、通常の食器よりは重くなる。

軽量化よりも、むしろ、硬

くて欠けにくいという耐久性

に着目し、食洗機への対応を

はじめ、家庭から飲食店まで幅広くアピールしている製

品をめざしています。

また、手動でプレスしても一

日五百から一千枚は成形可能

なことから、生産規模が整わ

ない地元の窯元の悩みにも応

えていくことができる。

「かづて瀬戸で焼いたものが

また、手動でプレスしても一

日五百から一千枚は成形可能

なことから、生産規模が整わ

ない地元の窯元の悩みにも応

えていくことができる。

ながる」と意欲的な佐藤社長。

また、手動でプレスしても一

日五百から一千枚は成形可能

なことから、生産規模が整わ

ない地元の窯元の悩みにも応

えていくことができる。

窯業の違いで様々な表情を楽しめる、フラットなプレートが人気。

# 鎌込み・上絵付

セト・ノベルティは、「型」を使って成形する「鎌込み」という技法でつくられます。職人歴約五十年のベテラン鎌込み師・松原謙次さんの指導で、約七cmの招き猫づくりに挑戦。まずは二つに合わせた石膏型の中に液状の泥漿(でいしょう)を流し込みます。石膏の型がみる水分を吸収し、五分ほどで固まります。そのまましっかりと開くと、「素地(きじ)」が完成！型の合わせ目の「バリ」を削り、水拭きで表面をなめらかに。後日十分に乾燥させた後、本焼成をします。



こぼさないようビタリと流し込むのがなかなか難しい。



シンブルな形状の場合は、「ポン割れ」と呼ばれる2つに分かれた石膏型を使用。



石膏型をバカッと開くと、原型と同じ形の招き猫に！

## ノベルティ・こども創造館

愛知県瀬戸市泉町74-1 0561-88-2666

10:00～17:00 入場無料

休 月曜日（祝日の場合は翌日以降の平日休館）  
及び年末年始（12月28日から1月4日）

ノベルティ体験（鎌込みとアクリル絵付け）

土・日・祝日 10:00より受付  
(当日受付のみ・プログラム開始時刻10分前までに受付)※時間は要確認

￥300円 小学一年生以上 在 制作時間約60分

※上絵具を使う体験もあります（500円・焼成し1ヶ月後受け取り）

<http://www.city.seto.aichi.jp>



焼成済みの素地で絵付け。

世界にひとつだけのノベルティに。

## セトヤキギフト

二人の記念日にそろえたい

### ペア杯

グラスといえばガラス素材を思い浮かべるけれど、陶磁器や木製も味わいがあっていい。ツクリテの「想い」が注がれた器なら、会話もより深まりそう。

手描きの絵付けは、ひとつひとつがオーナー。いつまでも長く使いたい器。森の未来を守る植林ひのきを使った〈Thinboku（シンボク）〉のグラスは、木目によって変化あり、光が透けるほどの「薄挽き」が繊細で美しい。記念日に杯を重ねる、日々是祝日。

▼ シャンパングラス「Thinboku」（シンボク）／わたり工房

<http://watari.tank.jp>

▼ Beerコップ（大）／宝山窯（宝山製陶所）

品野陶磁器センター 愛知県瀬戸市品野町1-126-2

0561-41-1141 9:00～18:00 (12～2月：9:00～17:00)

休 年末年始

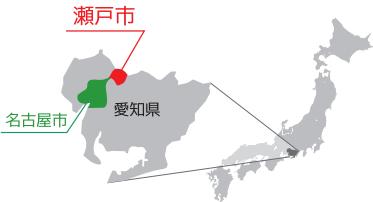


ガラス以外でも「うすくち」が人気。木製グラスは、中身は冷たくても飲み口は冷えにくく、唇にやさしい。コップも、飲み口のさりげないカーブに注目。

# Setolier information

## セトリエ

- 瀬戸+アトリエ=瀬戸のまち全体がやきものの文化を生み出すアトリエという意味。
- 瀬戸焼の魅力を紹介するフリーペーパー。ツクリテとソカイテをゆるやかに結ぶ新しい世界を提案・発信。



## 瀬戸焼振興協会公式ホームページ

セトリエ全号の閲覧もできます。

瀬戸焼の歴史や種類、扱い方・器のかたちについて、わかりやすく紹介しています。また、セトリエの最新号へバックナンバーもすべて閲覧・ダウンロードできます。ぜひチェックしてみてください。

<http://www.setoyakishinkokyokai.jp>



## セトリエ公式 Facebook ページ

瀬戸焼の最新情報をチェック！

画面に掲載しきれないトピックスや、各展覧会・イベント、「瀬戸焼」に関する最新情報を随時更新中。下記URLもしくは「セトリエ」でインターネット検索してご覧ください。皆さまからのコメントもお待ちしています。



<http://www.facebook.com/setolier>

主なセトリエ設置場所 > 瀬戸観光案内所（パルティせと1階）

せとまちツクリテセンター

瀬戸蔵ミュージアム

道の駅瀬戸しなの 他

その他の設置場所はこちらから！

<http://www.setoyakishinkokyokai.jp/setolier.html>

日本遺産ロゴマーク



日本遺産のまち  
瀬戸市

瀬戸市ロゴマーク



# セトリエ 定期 お届け便

セトリエの最新号を、毎号ご自宅やお店に、無料でお届けする「定期お届け便」のお申し込み受け付けをしています。

ぜひセトリエ本誌を手に取ってご覧ください。

- 冊子も送料も無料でお届けします。
- 定期読者にイベントのご案内等をお知らせします。
- このサービスとは別にセトリエを設置または配布していただけるお店や施設も、随時募集中です。
- 瀬戸焼振興協会までご連絡ください。

